

事務事業名	防犯対策事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	市民部		単位番号	4019								
			所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	野澤 淨								
			所属担当	交通安全・防犯		担当者名	名取秀記								
基本政策	基本計画体系 I 06 09	情報と連携の都市づくり 安全な環境づくり 地域防犯体制の充実	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
			01	一般	0	2	0	1	1	2	0	8	0	0	2
政策			事業区分 ☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
施策			法令根拠	南アルプス市生活安全条例 南アルプス市青色防犯パトロール事業実施要綱											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 17 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市内の小中学校、大型店舗、果樹地帯などを防犯対策のため、青色防犯パトロールを行う。平日毎日2台(2名ずつ乗車)で青色回転灯を整備したパトロール車で市内を南北に分け、14時～18時の下校時間を中心に、巡回や駐留警戒の防犯パトロールを実施している。1台は市の所有でパトロール要員として警察官OBを嘱託職員として任用している。もう1台は県防犯協会に業務委託契約して実施している。教育委員会などから不審者情報があれば、その発生エリアの巡回を強化しいる。			事業費の主な内訳 (22年度)											
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)					
				臨時職員賃金		2,419									
				その他委託料		3,276									
		計				5,695									

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	平日毎日4時間、市内全域において防犯パトロール車2台で防犯パトロールを実施している。
23年度活動予定	平日毎日4時間、市内全域において防犯パトロール車2台で防犯パトロールを実施する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民が犯罪から守られる	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民が安全安心した生活を送ることができる	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア パトロール実施回数	回
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口(4月1日現在)	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 14時～18時の間に市内で発生した犯罪件数	件
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 防犯体制が整っていると認めた割合	%
イ 安全安心な市であることの満足度	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	6,191	5,695	5,868	5,878	5,878	5,878	
	事業費計 (A)		千円	6,191	5,695	5,868	5,878	5,878	5,878	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千円	892	892	792	792	792	792	0	
		(A)+(B)		千円	7,083	6,587	6,660	6,670	6,670	6,670	0
活動指標		ア	回	240.0	240.0	240.0	240.0	240.0	240.0		
		イ	ウ								
対象指標		ア	人	72,869.0	73,014.0	72,584.0	72,854.0	72,854.0	72,854.0		
		イ	ウ								
成果指標		ア	件	88.0	64.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
		イ	ウ								
上位成果指標		ア	%								
		イ	%								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年前後に南アルプス署管内の刑法犯認知数が増加したことや以前から不審者の目撃に対する市民からの不安の声もあり、県警本部よりパトロール実施団体としての許可を受け平成17年7月から本事業を実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	5年前よりは犯罪件数は減少傾向にあるが依然不審者情報は後を絶たない。平成20年10月から増加する不審者情報等に対処するため山梨県防犯協会と委託契約を締結し、パトロール車を1台増車した。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	青色パトロールカーの巡回により犯罪の抑止力になっている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	増加する不審者情報等に対処するため平成20年10月から山梨県防犯協会と委託契約を締結し、パトロール車を1台増車した。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	年齢によるパトロール要員の切り替えを機に新たに2名任命し、20年度までのパトロール要員を休暇代替嘱託職員として任命することにより職員の負担を軽減

事務事業名	防犯対策事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	--------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 防犯パトロールを実施することにより、安全・安心で住みよい地域社会の実現につながる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 安心・安全のまちづくり実現のため行政の防犯対策として公共関与は妥当である。なおかつ行政だけでなく地域ぐるみで取り組むことが必要であり、現在も各地域において自主的に小学生などの登下校時の見守り活動などの防犯ボランティア活動が行われている
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市内全域をカバーしている
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 平日の毎日、2台で市内全域をパトロールしている
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 不審者情報も後を絶たない背景がある ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 廃止することにより不審者の出没や犯罪件数が増加する可能性がある
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 市が所有しているパトロール車も毎日60キロ以上走行するので老朽化が早く進む中での車両管理の費用、また市が任用する嘱託職員には年齢制限があり特殊業務にあたる本業務の人材確保の難点及び賃金コストなどの面を考えるとトータルの歳出の削減・事務の効率化を図るために、今後、業務委託も視野に入れ検討する必要がある
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 業務委託により業務時間の削減が可能
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全域をパトロールしている

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	嘱託職員は年齢制限があり特殊業務にあたり人材確保の難点 今後、業務委託も視野に入れ検討する必要があるが、市の車がまだ充分使えるため当面は現状により事業を実施していくことが妥当と判断する

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ①事業は現状どおり行方が市の車が老朽化してきたときには、県の防犯協会へ業務委託を検討する。 ② ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①年齢条件等人材の確保が困難。 ②車両費用と人件費ともに業務委託したほうが、コスト削減になる。 ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>③</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑪</td></tr></table>		成果優先度評価結果	③	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	③																							
コスト削減優先度評価結果	⑪																							